

平成29年度「土砂災害・全国防災訓練」実施事例（富士宮市大中里区）

【訓練概要】

静岡県富士宮市では、6月4日（日）の「土砂災害・全国防災訓練」全国統一日に、大中里区の住民を対象に避難訓練及び勉強会を実施しました。本訓練では、自主防災組織や消防団をはじめとし、住民が主体となった避難や県・市職員による土砂災害に関する勉強会を行い、いざというときに早めの避難ができるよう、官民一体となって取り組みました。

1) 実施日

平成29年6月4日（日） ※全国統一日

2) 実施地区名

静岡県富士宮市大中里区

3) 講習会開催場所

大中里区民館

4) 参加人数

66名（うち住民は56人）

5) 参加機関

大中里区自主防災組織、大中里区住民
富士宮市消防団
富士宮市、静岡県

6) 実施訓練内容

- ・区民館への避難訓練
- ・土砂災害に関する勉強会
- ・ハザードマップによる危険個所の確認

7) 工夫した点

- ・県及び市から説明を受けることで、ハード・ソフト両面から土砂災害に係る知識を学び、住民の意識啓発につながった。



避難行動の様子



避難状況を確認する様子



土砂災害防止講習会の全景



県・市職員による土砂災害防止講習会